



天保三年
五月
会館
江戸

天保三年
五月
会館
江戸

繪師 貞三

徳川義経

~13
3890
4

~13
3890
3

~13
3890
2

~13
3890
1





大日本國書

天保三年
壬辰新春
京都南陽
馬町丁
錦繪屋
信美堂



信美堂の
宮内省の
御用

大日本國書

あはれ
の

~13
3890
1



白石翁の七日は杖敷と受きての所の翁様淡洲樓が筆力にて
 曾我物語の教訓は古今未だの趣向なるべし振袖日記の合巻は看官
 ば悦び多し中橋の貴兄墨春亭が新案にして娘曾我と題せしむ
 春成の梅は赤本時候より相應せりと書曾が鼻春とく喜悦
 料の書き大なる量見違ふり彼人吾拙作の体とは結びて聲名を信
 せし傳馬街の相傳の墨の二字を戲号し名告まで未聞思き初杜鵑
 育翁の老翁の師匠自ら吾兄之流る文辞のては返らぬ筆の高小
 著述の多く真傳が多しと一番四まはりので出たるは是非とも云せ
 堂が藻言の無理野望の早咲多し梅六呂が勝色見まはる初舞
 その先校合さるる

天保三壬辰肇春新版

墨川亭雪曆序

い
ろ
ろ
ろ

振袖

門へ13
3890
1



振袖

みづ
記

黒春亭
梅曆編
貞齋画
紅英堂
壽櫻

雪曆
校正

全部八冊合本四冊



武者修行
宇治大助之助



春乃
若竹



赤坂夏の
牧あふあふ
弱汰

拾玉集
慈鎮和尚



奥州岩手の家臣
芳駕雷七郎
後に秋夜齋



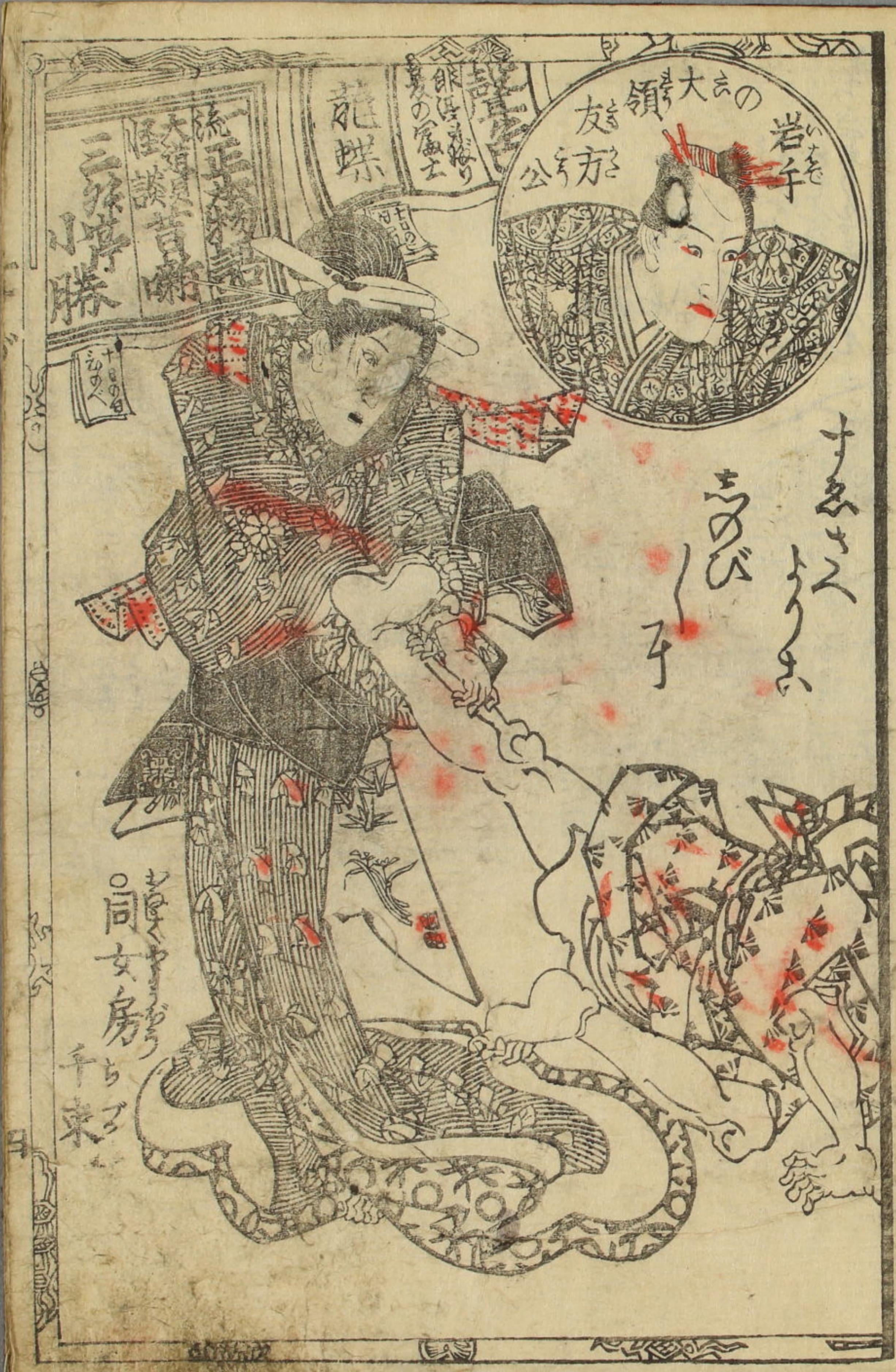
とんどんいそで
あのだけさきり
ふのうらふ
みづか
ねい



○岩手家の忠臣
離島之丞



○安積沼右三門之姉娘
小菰



貞齋画梅广昌作

筆者 金水



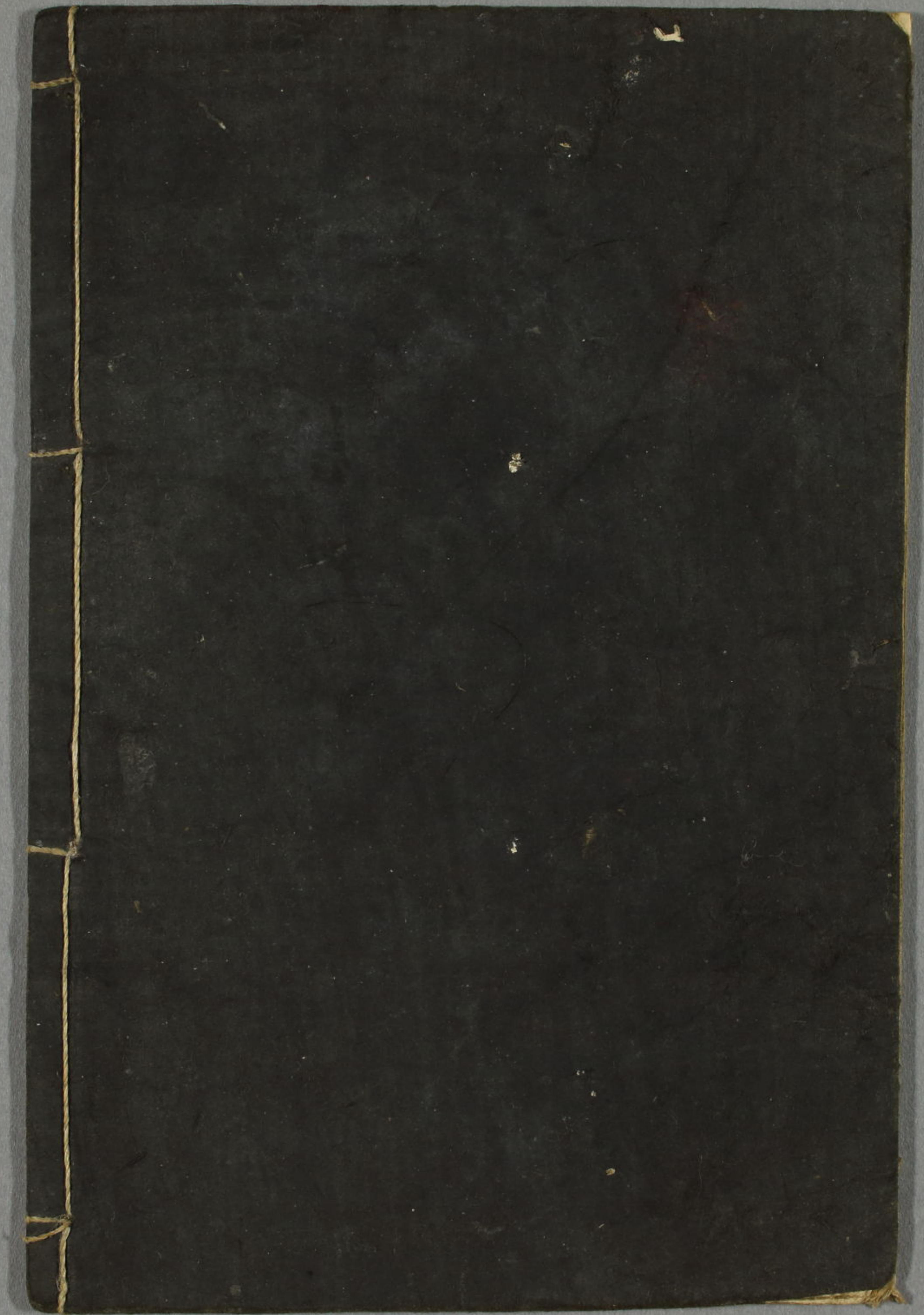
日本何處へ糸のりあり

以て糸を束ねて糸方へお返し

いさよのしん

糸方

いさよのしん



武蔵野無頼の巻



子分死守の巻

志乃殿

うしろ



~13
3890
2



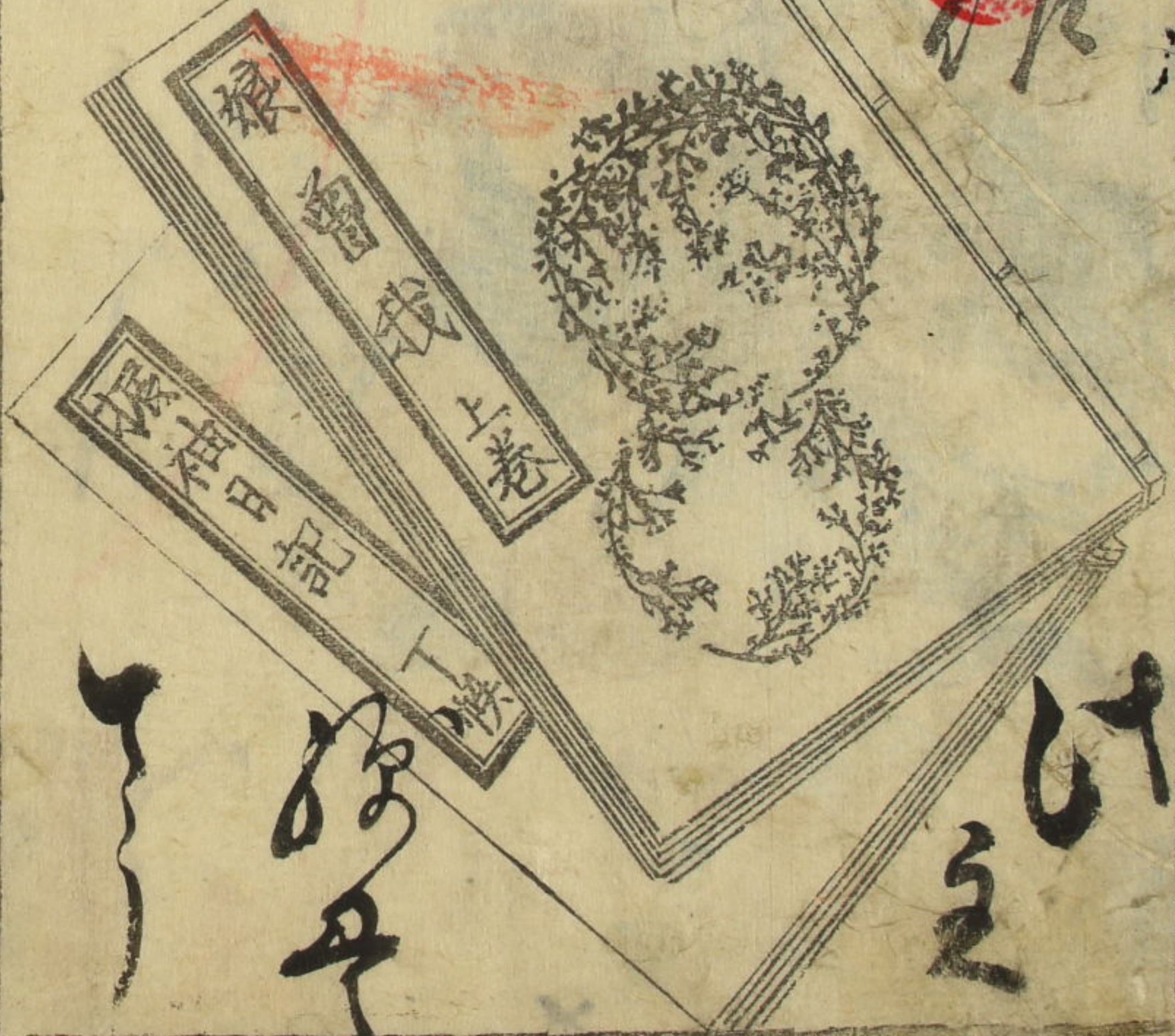
はてしなくの... (Vertical text column on the top left of the page)



... (Vertical text column on the bottom left of the page)

門へ13
3890
2

柄す活作
貞齋
画
了英生
と梓



い
ま
... (Large stylized characters at the bottom right of the page)



中は...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...



...
 ...
 ...



墨春亭梅屋呂作



貞齋畫圖

全四冊

柳亭種彦作
溪齋英泉画

略海人手管糸珠

全六冊

墨春亭林宮作
歌川國貞画

忠臣藏秋田伊呂波

全冊

墨川亭雪齋作
歌川貞画

時話今櫻野駒

全六冊

松亭金水作
貞齋画

娘曾我振袖日記

全八冊

墨春亭梅屋呂作
貞齋画

美艷仙女香

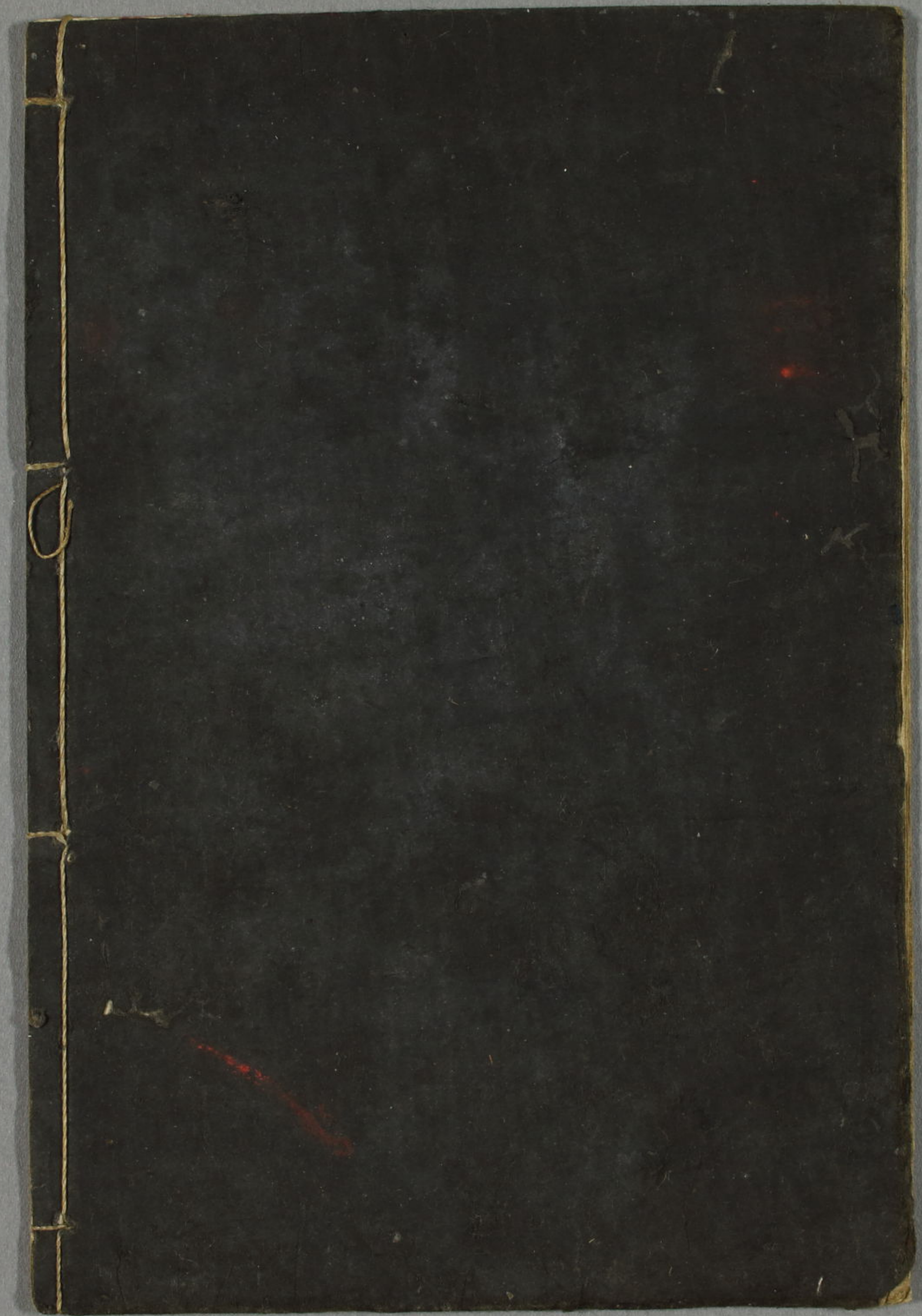
全冊

紅英堂鷺屋吉藏

黒油美女香

全冊

紅英堂鷺屋吉藏



卷之六

Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text.

Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary.



Handwritten text in vertical columns, located below the illustration of the seated man.

Handwritten text in vertical columns, located at the top of the right page.



Handwritten text in vertical columns, located between the top and bottom text blocks on the right page.

Handwritten text in vertical columns, located at the bottom of the right page.

貞齋画



梅广吕作

此の... 貞齋の... 梅廣呂の... 此の... 貞齋の... 梅廣呂の...



此の... 貞齋の... 梅廣呂の... 此の... 貞齋の... 梅廣呂の...

此の... 貞齋の... 梅廣呂の... 此の... 貞齋の... 梅廣呂の...

い け へ ち ち

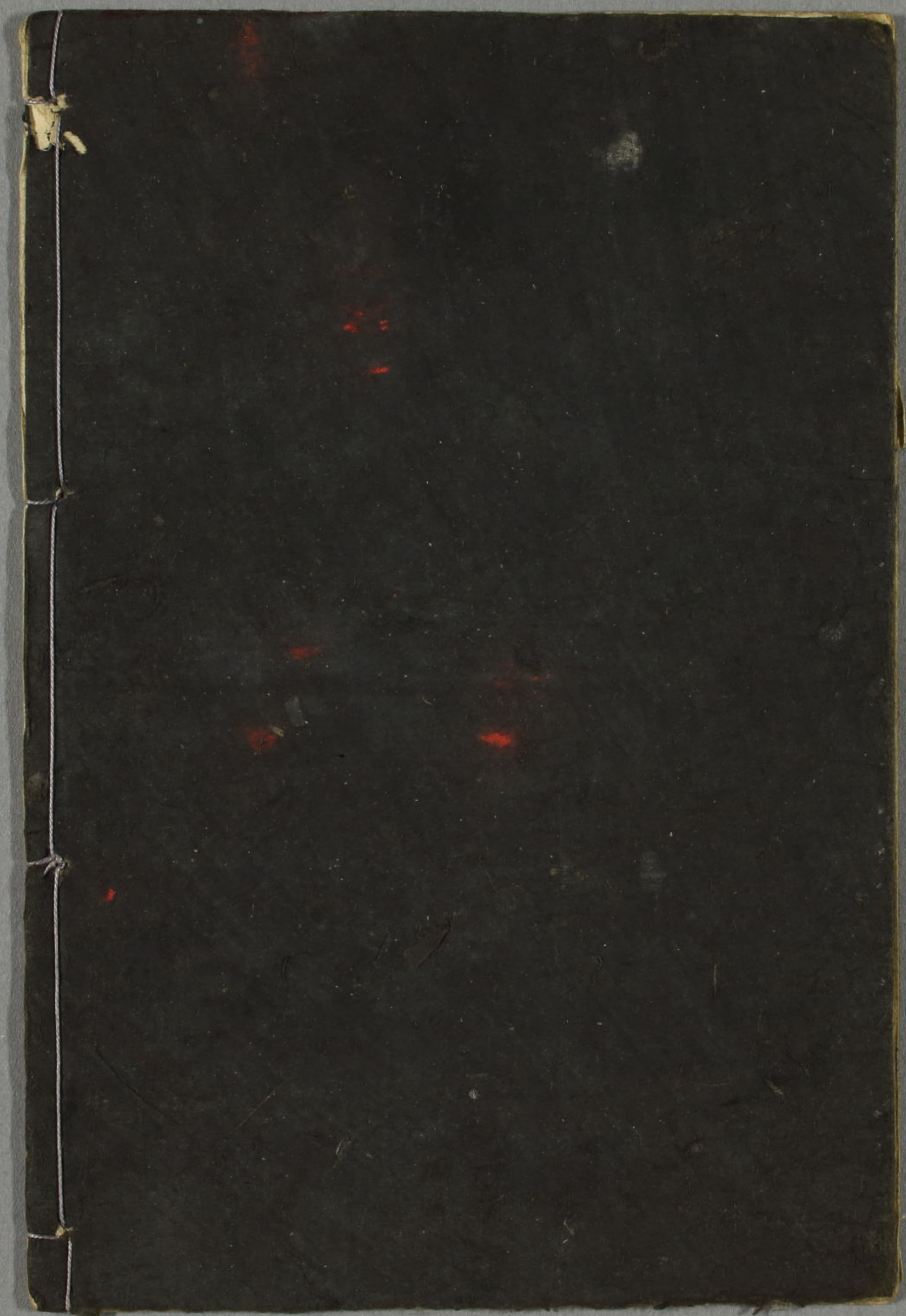
精製 白妙

一 包 代 三 十 二 網

此の... 貞齋の... 梅廣呂の... 此の... 貞齋の... 梅廣呂の...

本家調合所

北林堂 西宮 弥生



天保三年
正月新編
全部八冊

義経退治物語
源頼朝退治物語
源頼朝退治物語



繪師 貞吉

~13
3890
4





卷之八



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style.





① 此の如くは...
② 此の如くは...
③ 此の如くは...
④ 此の如くは...
⑤ 此の如くは...

⑥ 此の如くは...
⑦ 此の如くは...
⑧ 此の如くは...
⑨ 此の如くは...
⑩ 此の如くは...



⑪ 此の如くは...
⑫ 此の如くは...
⑬ 此の如くは...
⑭ 此の如くは...
⑮ 此の如くは...

⑯ 此の如くは...
⑰ 此の如くは...
⑱ 此の如くは...
⑲ 此の如くは...
⑳ 此の如くは...

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

墨春亭梅麿作

貞齋主人画

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

筆者
金水

墨工
朱成

